

物価高騰のもと公共料金の値上げやめよ！

日本共産党藤沢市議団は反対しました

10月10日、藤沢市議会の月定期会が終りました。今議会は2022年度の決算を審議する議会でした。日本共産党藤沢市議会議員団は、決算審議や常任委員会、一般質問などを通して、市民のみなさんの声を議会で積極的に発言し、市政に反映させるために全力を尽しました。9月議会の一部ですが主な内容を報告します。

公共料金の値上げ 中止を

共産党議員団 反対討論

値上げは「条例の一部改正」という形で6件提出されました。（下表参照）

藤沢市は3年毎に公共料金の値上げを検討してきました。過去に値上げを見送ったときもあります。今回も物価高騰の折り値上げはやめました。しかし、市は強行に議案を提出するべきでした。

日本共産党議員団は反対しました。

藤沢市の値上げの根拠は

藤沢市は値上げの根拠として「受益と負担の適正化」をあげ、人件費や建物の減価償却費も含めた「コスト計算をして、受益者負担割合を決めています。そもそも、公務員の入件費は「コストとして考えるべきではありません。建物も税金で造った市民の財産です。原則無料であるべき公共サービスを有料にし、値上げする」とはやめるべきです。

今回の値上げで総額4,800万円の市民負担増になります。



公共料金値上げ項目

まな

○手数料条例の改正
※人辨証明書手数料（30%値上げ）
300円→400円

○ハケ岳野外体験教室条例の改正
*使用料（大人）400円→500円
*宿泊料 400円→600円

○市立病院条例の改正
*診察料 ハーフ代（2人部屋）
240円→300円

○市立看護学校条例の改正
*看護料
14万4,000円→17万6,400円

○大庭台公園条例の改正
*普通納骨壇（70%）
3,888円→4,600円

*集石納骨壇（20%）
1,941円→2,300円

○公園条例の改正
*公園使用料（0%→40%）
（10円が14円）

12月議会に提案される予定の債権徴収条例では、今まで市税、国保料、介護保険料など、強制債権は滞納者に対し差し押さえなどの強制的徴収を行ってきました。この強制的に徴収したことによって、これまで市税、国保料、介護保険料など、強制債権は滞納者に対し差し押さえなどを強制的に行なうべきだなどと考えます。

藤沢市は、今まで市税、国保料、介護保険料など、強制債権は滞納者に対し差し押さえなどを強制的に行なうべきだなどと考えます。



自衛隊員募集

紙ベースでの名簿提供はせず！

藤沢市は、今まで市税、国保料、介護保険料など、強制債権は滞納者に対し差し押さえなどを強制的に行なうべきだなどと考えます。議員団は条例はつくるべきだなどと考えます。



パートナーシップ 宣誓制度の拡充を

味村 耕太郎 議員

性的マイノリティや事実婚の方など同性・異性問わずパートナーシップのある2人の関係を公的に承認するパートナーシップ宣誓制度を当事者の子どもも対象となるファミリーシップ制度へと充実させることを求めました。また、11月1日から横浜市、伊勢原市との間で制度の連携がスタートしました。

防災避難所を

ジェンダーの視点で
加藤 彩野 議員

災害時に女性や子どもが暴力の被害に遭うという報告が東日本大震災女性支援ネットワークからされています。

避難所運営や意思決定の場に女性を登用する仕組みづくりを確立するよう求めました。津波避難施設について避難可能者数の詳細も確認しました。



都市農業の振興策と長後のまちづくりを質問

柳沢 潤次 議員

農業は国の基幹的産業です。しかし、食糧自給率が38%しかありません。藤沢市の現状も、この10年間に水田や畑は約15%、農業従事者は38%も減少しています。今は農家への「所得補償・価格保障」が必要です。市の独自施策である水田全事業の拡充が求められます。二つ目に、長後の道路問題や乗り合タクシーについて質問しました。



ご意見・ご要望をお気軽にお寄せください



日本共産党市議会報告

No 314

2023年11月12日（連絡先 Tel. (25) 1111 (内) 5649
ホームページ <http://fujisawa-kai.sakura.ne.jp/fujisawa>
E-mail fujisawa.kyosan@gmail.com

みんなの声を議会で発言
党議員団 4人が一般質問を行う

藤沢市議会議員
加藤 彩野

みんなの声届きました 国への意見書3件採択!

採択

保育所等の職員配置基準 改善を求める意見書

保育施設は国の基準で1人の保育士が見られる子どもの数が決まっています。保育士1人に4、5歳児は30人と、国際的にも低水準です。

安全な保育をするには厳しい現状です。

全ての委員が賛成し、職員の待遇と配置基準の改善、その為の財源確保を国に求める意見書を藤沢市議会から出すことになりました。

趣旨了承

帯状疱疹ワクチン接種 費用の一部助成を求める陳情

「ワクチンを接種することで、発症の確率を下げ、発症したとしても症状を軽くすることが期待できますが、接種には2万円から3万円の費用がかかります。藤沢市は接種費用の一部を助成することで、多くの方がためらわずに帯状疱疹のワクチン接種をすれば、命と健康をすることになるため王旨了承します。」と党議員団は賛成の討論を行いました。

この陳情は、賛成6、反対2で趣旨了承となりました。藤沢市は委員会の結論を重く受け止め、誠実に対応すべきです。

2024年度の予算要望書 鈴木市長に提出

日本共産党藤沢市議会議員団は10月6日、106項目にまとめた2024年度の予算要望書を鈴木恒夫市長に提出しました。



9月議会には市民の皆さんからたくさんの請願陳情が提出され審議されました。国への意見書が3件採択され、藤沢市への要望1件が趣旨了承になりました。その他は否決や趣旨不了承でした。会派毎の賛否の状況は下表をご参照ください。

採択

選択的夫婦別姓制度の 法制化を求める意見書

「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」が賛成多数で採択されました。日本では結婚時に改姓するには現在も女性が96%で、社会生活を送る上で様々な不利益をもたらし、個人の尊厳を脅かしています。意見書は選択的夫婦別姓制度の導入により「男女が改姓による不利益を察することなく法的な家族として支え合える社会を実現することにつながる」と指摘し国に対して法制化を求めています。

党議員団は「個人の選択に寛容な社会をつくるために政治が責任を果たすべき」と賛成討論を行いました。

採択

厚木基地の住宅防音工事 補助対象区域の改善を求める意見書

厚木基地での爆音は受容の限度を超えているから国は爆音のうるさき指数75W値以上の地域を防音工事区域に指定してきました。陳情は、3回行われた区域指定が追加方式で実施されたため、指定区域であっても指定以後建築された建物は国の費用での防音工事が認められないことから、この矛盾の解消などを求めました。

陳情は総務常任委員会で趣旨了承され、本会議で全会一致で国への意見書が採択されました。



趣旨不了承

紙の健康保険証の 存続を求める陳情

「(紙)の健康保険証の存続を求める陳情」は、神奈川県保険医協会、湘南建設組合と神奈川川上建一般労働組合湘南支部の連名、全日本年金者組合神奈川県本部藤沢支部と4団体からだされました。

党議員団は、マイナンバーカードの問題点を指摘し、来年の保険証廃止手続きをやめ、国民と医療現場の声に従って、健康保険証を存続させるべきと主張し、賛成しました。

否決

消費税インボイス制度の 実施中止を求める陳情

10月1日からインボイス制度が実施されました。9月議会総務常任委員会で「湘南民主商工会」から提出され「実施中止」を求める陳情が審議されました。年間売り上げが1000万円以下の小規模事業者やフリーランスは消費税を納めることができないが免除されています。

ところが、インボイス制度では登録業者になるか、商取引から排除されるかの2選を選択が迫られることがあります。この陳情は小規模事業者などの死活問題になるインボイス制度は中止を求めたものです。残念ながら終止趣旨了承になりました。

加齢性難聴者の 補聴器購入に公的助成を!

党議員団は、この請願に対し「公的助成により補聴器が普及し、生活改善、健康で生き生きとした暮らしを支える点で必要性がある」と意見を述べ賛成しました。

他に賛成した会派もあるものの、残念ながら否決されました。

9月議会での議案・請願・意見書・陳情に対する各会派の態度と結果

条例・請願・陳情書の要旨	市	民	公	共	Vi	維	自	ア	ウ	委員会	備考	結果
差額ベッド代等の値上げの藤沢市民病院条例改正など6本の値上げ条例	○	○	○	×	○	○ △1人 △2人	○	○	○	本会議		可決
保育所等の職員配置基準改善を求める意見書(神奈川県地方自治研究センター)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本会議		可決
厚木飛行場の住宅防音工事補助の問題解決を求める意見書(厚木基地周辺の騒音対策を考える会)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	本会議		可決
選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書(市民10人)	○ △5人 △4人	○	○	○	○	○ △2人 △1人	○	× △1人 △2人	○	○	本会議	否決
加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を求める請願(全日本年金者組合)	×	○	×	○	○	○ △2人 △1人	×	○	×	本会議		趣旨不了承 (委員会採決 (市民クラブ))
現行の紙の健康保険証の存続を求める陳情(神奈川県保険医協会、湘南建設組合、神奈川川上建労働組合、全日本年金者組合)	×	○	×	○	-	×	-	○	-	厚生環境		趣旨不了承
安保関連3文書の閣議決定の国民的議論を求める陳情(自主・平和・民主のための広範な国民連合)	×	×	×	○	×	○	-	×	-	総務		趣旨不了承
帯状疱疹ワクチンの接種費用の一部助成を求める陳情(全日本年金者組合)	○	○	×	○	-	×	-	○	-	厚生環境		趣旨了承
インボイス制度の実施中止を求める陳情(湘南民主商工会)	×	○	×	○	-	×	-	○	-	総務		趣旨不了承 (委員会採決 (公明))

共:日本共産党(4人) 市:市民クラブ藤沢(9人+議長) 民:民主・無所属クラブ(8人) 公:藤沢市公明党(5人) Vi:Visionふじさわ(3人)

維:湘南維新の会(2人) 自:自由民主無所属の会(2人) アク:アクティブ藤沢(1人) We:We藤沢(1人) 定数36人

△:賛成 ×:反対 △:継続 -:該当委員なし <可決・否決は本会議で議案・請願・意見書に対する態度、趣旨了承・趣旨不了承は常任委員会での陳情に対する態度を示す>